

麻疹（はしか）患者の発生について（第 1 4 報）

ミロクコミュニティ救世神教が自施設で開催した研修会の参加者等から、複数の麻疹患者（初発患者からの二次感染者）が確認され、現在、二次感染者の接触者から麻疹患者（三次感染者）が確認されています。

本公表は、麻疹（はしか）感染拡大防止のため、広く注意喚起を行うものです。

【県の対応】

県では、県内保健所を中心に他の関係する自治体とも協力し、参加者等及び接触者の健康観察を詳細に行い、早期に情報を把握し発症時の受診勧奨をする等、感染拡大防止に努めています。

また、教育機関や企業等にも協力を求め、十分な免疫を有していない方々に麻疹ワクチンの接種検討を促す等、感染拡大防止に向け注意喚起を行っていきます。

【県民の皆様へ】

麻疹（はしか）を疑うような症状（高熱・発疹・咳・鼻水・目の充血等）が現れた場合は、必ず事前に医療機関へ連絡し、麻疹（はしか）の疑いがある事を伝えてください。受診の際は公共交通機関の利用を控えて医療機関の指示に従って受診をしてください。

麻疹（はしか）は感染力が強く、空気感染するため、手洗い、マスクのみでは予防できません。しかし、ワクチンを必要回数接種していれば、麻疹（はしか）に感染する可能性はワクチン接種をしていない人と比べるとはるかに低くなることから、ワクチン接種が最も効果的な予防法です。そのため、以下のことを確認してください。

また、定期接種対象者でまだ受けてない方は、早めの接種をお勧めします。

<定期接種対象者>

第 1 期：生後 1 2 月から生後 2 4 月に至るまでの間にある者

第 2 期：5 歳以上 7 歳未満の者であって、小学校就学の始期に達する日の 1 年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者

〈確認事項〉

- ① 2 回の麻疹ワクチンの予防接種を受けている。
- ② 過去に麻疹にかかったことが明らかである。
- ③ 既に発症予防に十分な麻疹抗体価を保有している。

※①から③のいずれにも当てはまらない方は、かかりつけ医療機関に相談のうえ、麻疹ワクチンの接種を検討してください。

今回、判明した患者の概要（本件に關与する届出数累計42名）

	性別	年代	居住地	予防接種歴	発生日	結果判明日	備考
患者40	男性	20歳代	四日市市	なし	1月24日	1月25日	詳細は四日市市保健所が 現在調査中
患者41	女性	10歳代	津市	2回	1月24日	1月25日	患者4・5と学校で接触
患者42	男性	10歳代	伊勢市	1回	1月25日	1月25日	患者17・18と学校で接触

※平成31年1月24日(木)資料提供いたしました患者属性のうち、患者39の備考を訂正します。
(誤) 患者14・15と学校で接触 → (正) 患者15と学校で接触

※備考中「接触」とは、感染可能期間内（発症1日前より解熱後3日間まで）における以下3つの場合のいずれかをいいます。

- ・麻しん患者と直接接触した
- ・飛沫感染可能な範囲内（患者から2m以内）で飛沫感染した
- ・麻しん患者と同じ空間を共有した

【参考】麻しん発生状況：届出数（四日市市保健所分を含む）

年	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
三重県	2	7	2	1	5	1	0	6	22	3	42 ^{※1}
全国	732	447	439	283	229	462	35	165	189	282	46 ^{※2}

※1：2019年1月25日（本件含む）現在 ※2：2019年1月13日時点

※団体名については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」でいう予防に必要な情報に該当しないこと及び団体の意向から、「民間団体」と記載してきましたが、1月22日、当該団体が社会的影響を鑑み公表したことを受け、第11報から団体名を記載いたしました。